

自立と誇り

令和2年度 平和中学校
3年生
学年通信10月9日号

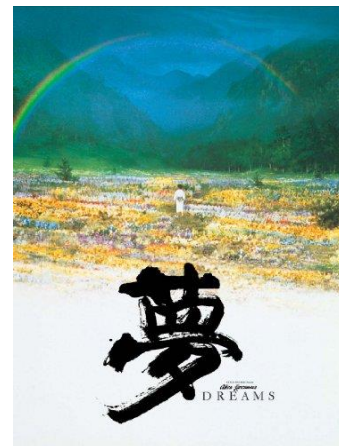
努力をする者は夢を語り

なまける者は不満を語る

前期を終え、後期がスタートします。前期における毎日の学習や学校生活で培ってきた力を礎にして、中学校生活のフィナーレを飾る半年にしたいものです。一方、人生最初の岐路となる進路選択も絞り込みの時期になってきました。来週には先日実施した実力テストを返却します。今学期の努力の成果を実感するとともに、今後の意欲をかき立て、夢を実現させていきましょう。

さて、『夢』についていろいろな格言があります。

冒頭に書いた『努力する者は夢を語り、なまける者は不満を語る』は君たちに贈りたい一言です。出典は作家の井上靖さんと言われていますが、それには諸説あり、はっきりしていません。いろいろな人がこの言葉を引用し、人生について語っています。その中で「努力する者となまける者を分けるものは、どこに目を向けるかのちがいであり、怠けようとする自分に打ち勝てるかどうかである。我々はついつい現状の不満ばかりに目を向け、努力を怠る癖があるようだ。本当は、不満があるから怠けるといふより、怠けたいから不満を探すという方が適切なのかもしれない。そうならないために、我々は意識的に希望に目を向けていく”努力”が必要なのだ。」という解釈が君たち受験生にはぴったりだと思います。また、女子サッカー“なでしこジャパン”元主将の澤穂希さんは『夢はみるものではなく叶えるもの』と2011年ワールドカップ優勝のインタビューで語り、自身の著書で「私もいろいろな目標を達成してきたけれど実現するのは決して楽な道ではなかった。いろんな思いがあったし、苦しい思いもたくさんした。ただ、そういう苦しみを乗り越えたあとはいいいことが待っているし、その達成感はその苦しみの何倍にもなって自分にかえってくる。そして、苦しい思いをすると、同時にもっとやれる自分が見えてくる。」と記しています。進路希望の実現は自分次第。兎にも角にも自分に真正面から向き合い、毎日の学習や学校生活、家庭での生活を充実させていきましょう。



【生徒・保護者の皆様へ】

5月18日の学年通信にも載せましたが、高校進学に関する奨学生予約募集の案内も届いています。奨学金制度については、様々な資格や条件、申込期日があります。奨学金について、詳しい情報が必要な場合は、学級担任、学年主任に早めに問い合わせして下さい。